

気候変動に関する対話シンポジウム

将来の安全・安心な 社会をめざして

参加
無料

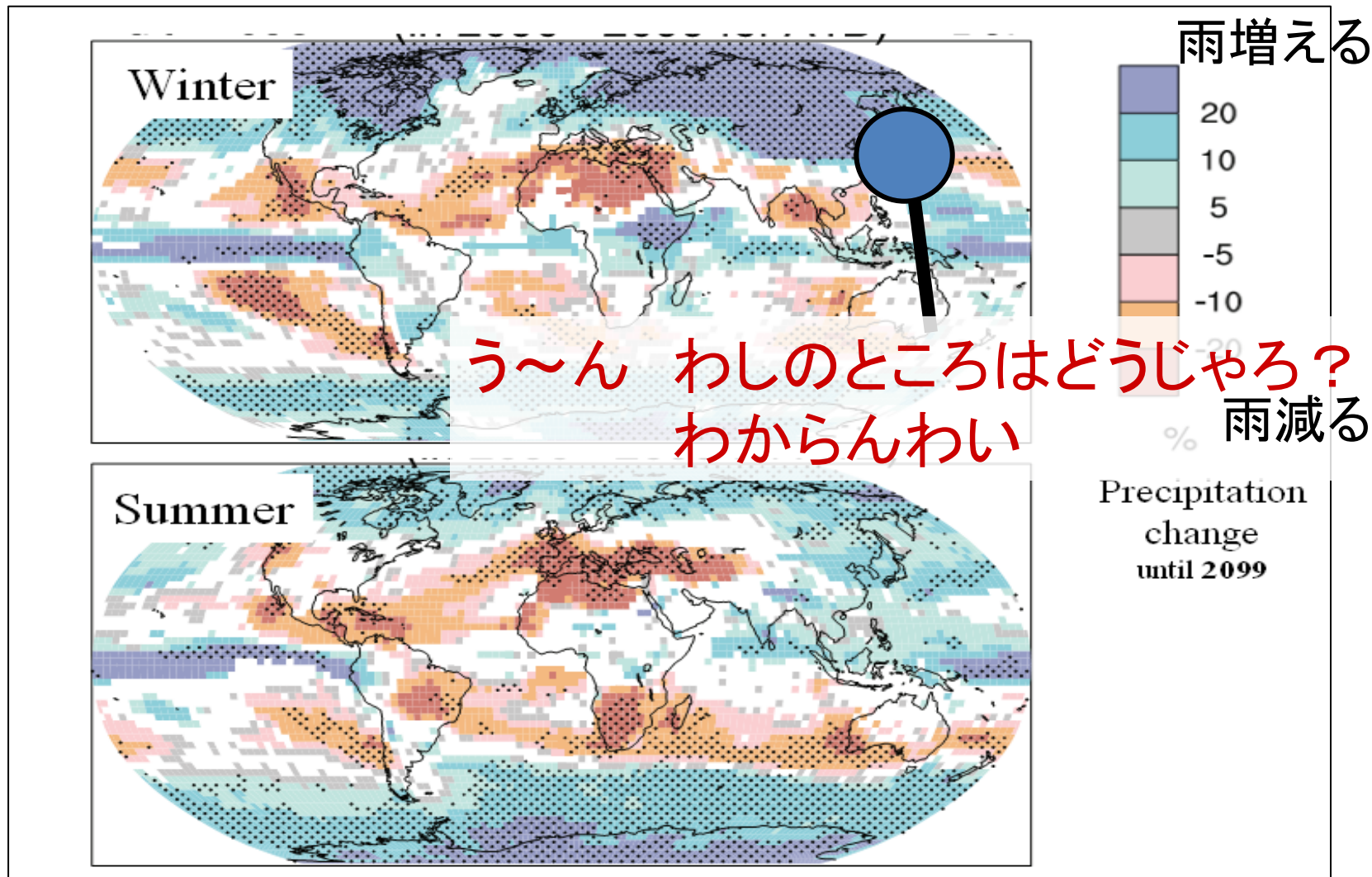
分科会① 温暖化によって将来の気候はどう変わるのか？

共同モデレータ 木村富士男(JAMSTEC)

担当研究課題

日本海沿岸域における温暖化に伴う積雪の変化予測と
適応策のための先進的ダウンスケーリング手法の開発

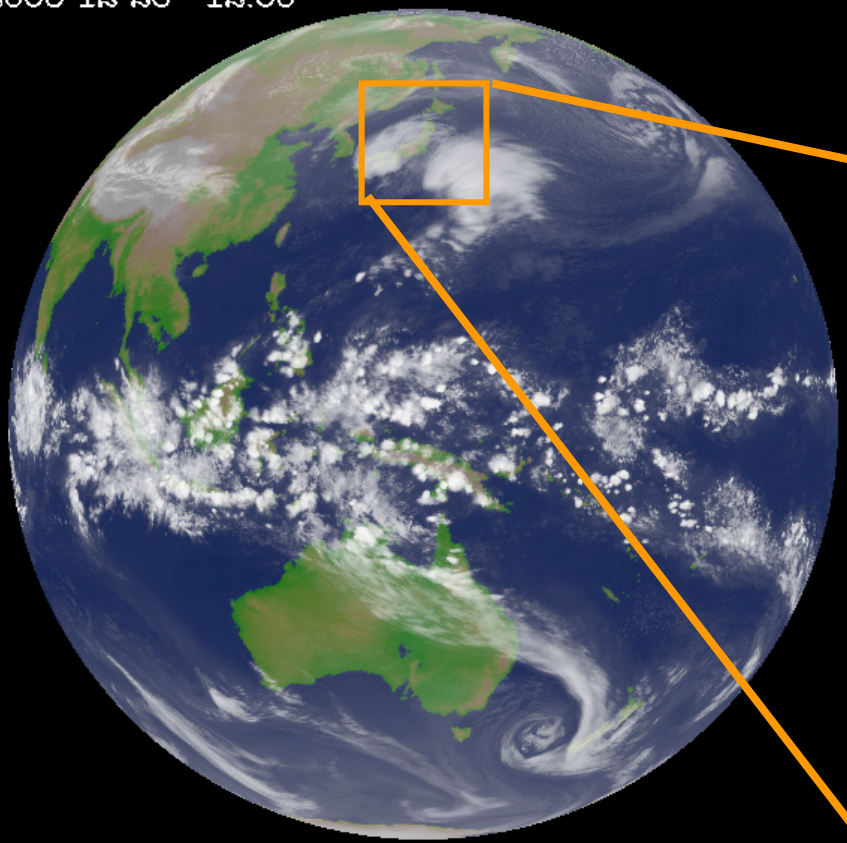
ど〜ん 90年後の雨はこうだ



Precipitation Change until 2099 reported by IPCC AR4 WG1

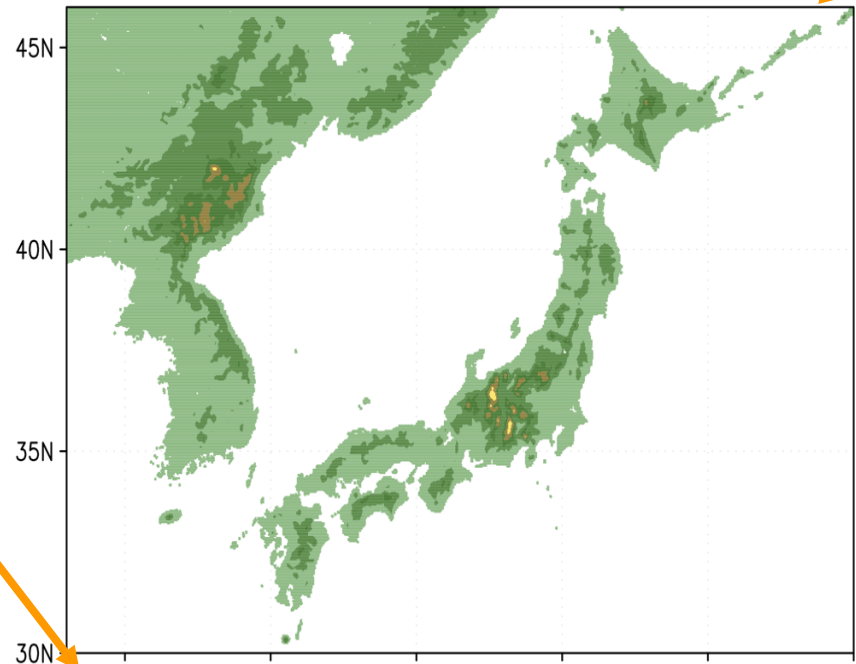
空間詳細な気候変動予測 **そこでダウンスケーリング!**

2006-12-26 12:00



日本域だけ詳細に再計算

topography resolution@5km



地球全体の将来気候



2030年代の積雪量変化

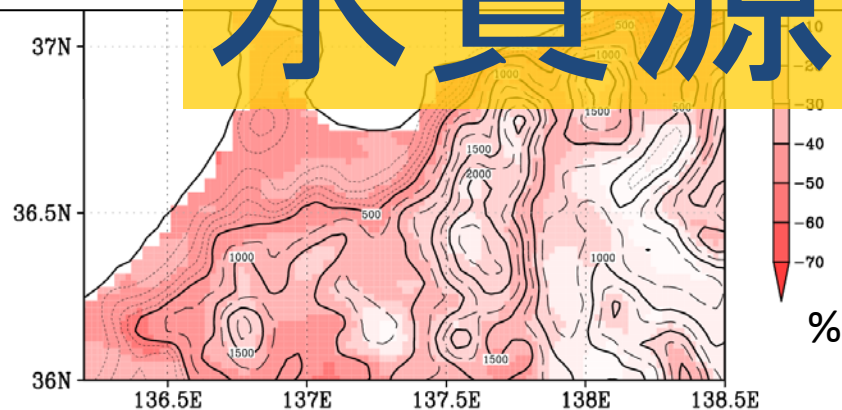
積雪量の変化予測

【総降雪量の変化の特徴】

雪が減ると車の運転は助かるよ！

減って困ることなんてあるの？

水資源が心配

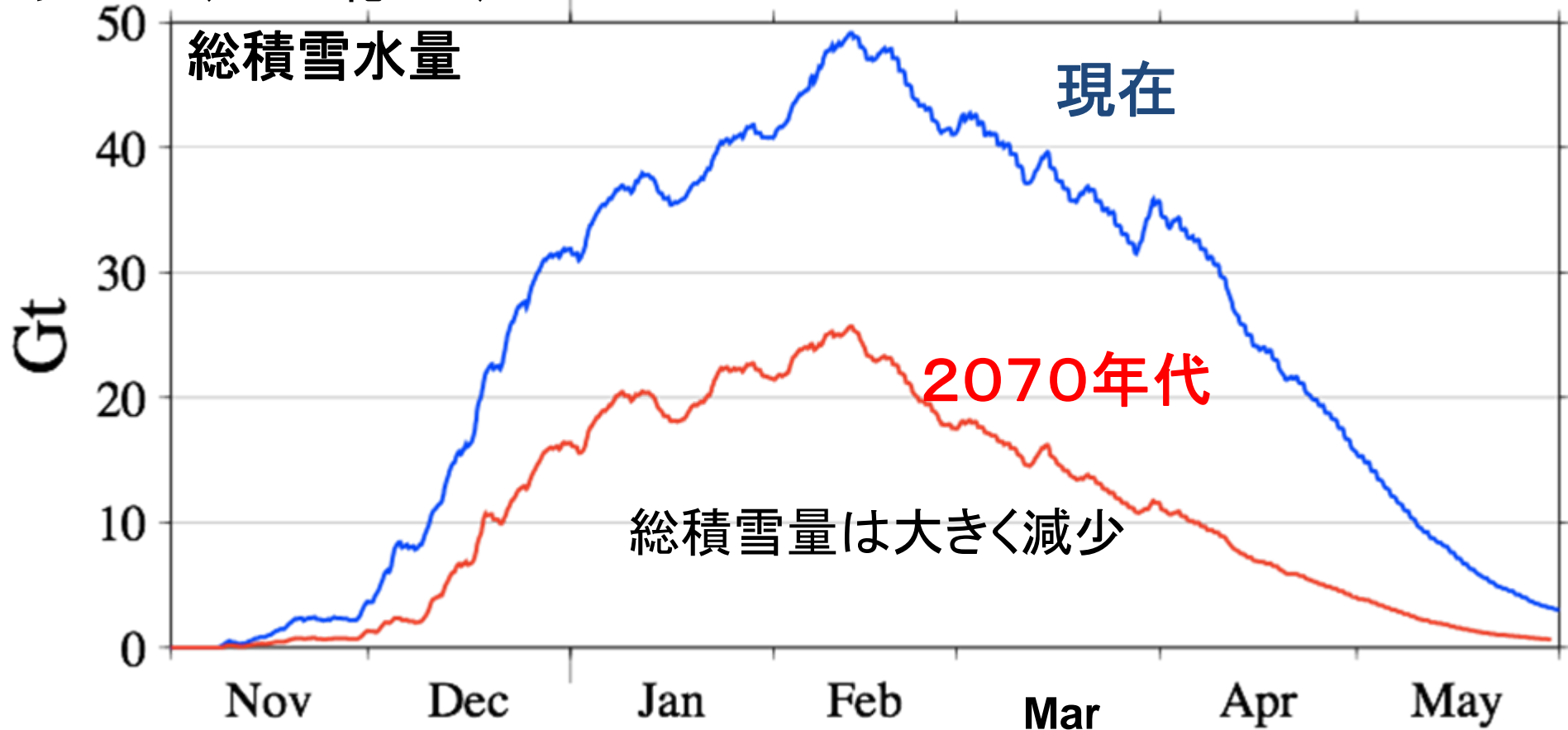


標高1000m以上の高地では減少率が小さい。

山の雪は巨大な水資源

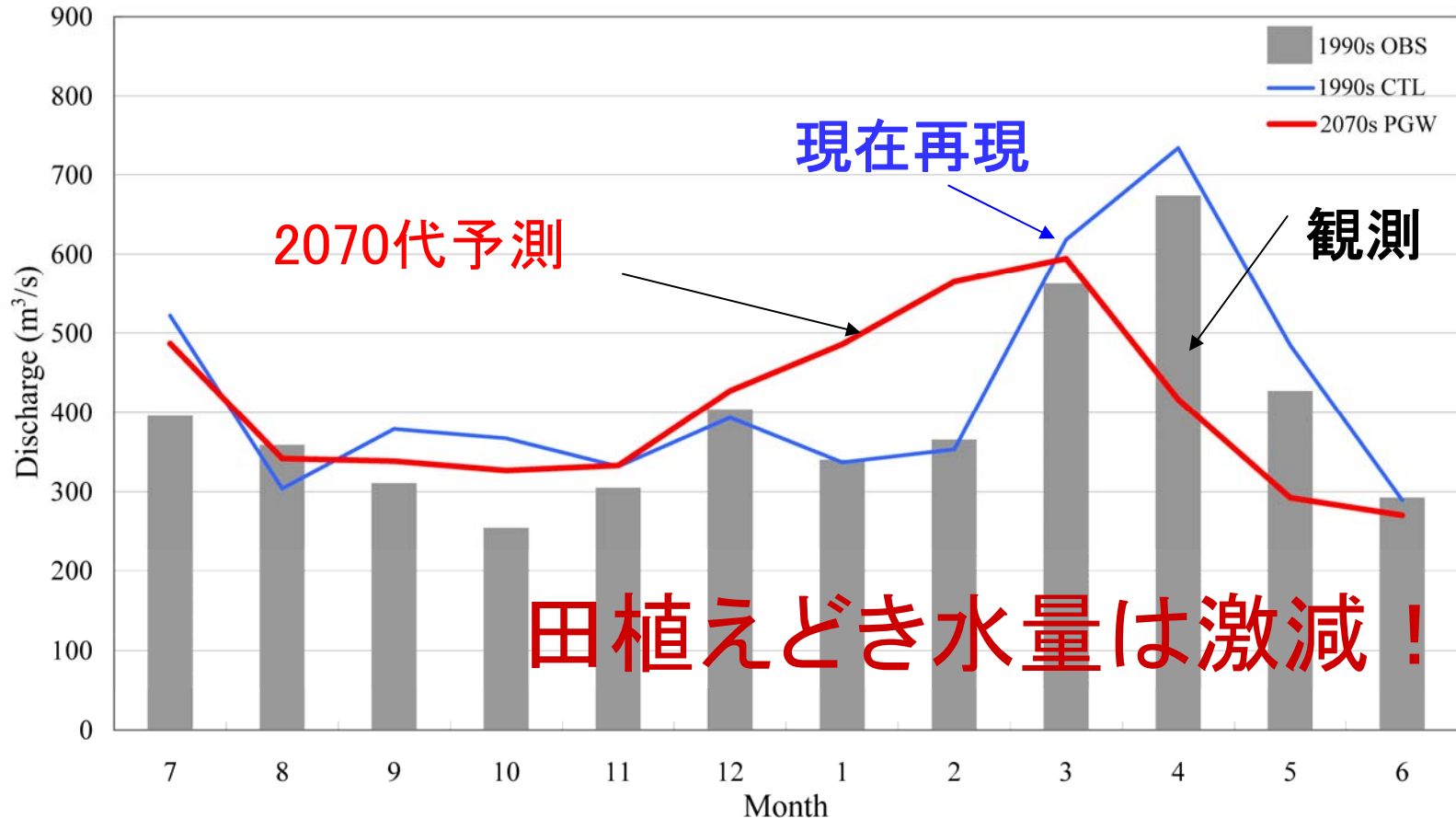
我が国の総積雪水量の将来予測

ギガトン(×10億トン)



阿賀野川の河川水量の変動予測

2070年代の阿賀野川月平均流量



こんなことも

都市部での積雪期間の激減・消滅



除雪予算が不必要に（パチパチパチ）



除雪業者は業種転換・除雪機器の廃棄



10年に一度の気まぐれ豪雪



除雪不能 都市機能マヒ（こりゃまいった）

積雪が減る予測だけでは情報不足

その変動の幅など

問題に応じた予測が必要

問題に応じた予測には 気候変動に関する異分野間の対話は不可欠



気候変動に関する対話シンポジウム

ありがとうございました

日本海沿岸域における温暖化に伴う積雪の変化予測と
適応策のための先進的ダウンスケーリング手法の開発

JAMSTEC・秋田大学・富山県環境科学センター